

## 講師選外理由

① 東国原英夫 (ひがしこくばる ひでお) 元衆議院議員 元宮崎県知事 タレント



生年月日 [1957年9月16日](#) (57歳)

出生地  [日本・宮崎県都城市](#)

出身校 [宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校](#) 全日制課程普通科卒業  
[専修大学経済学部経済学科](#) 卒業  
[早稲田大学第二文学部](#) 社会人間系専修卒業

9月公開例会に講師を依頼する理由として、国家の礎は地方にある。だが、現実には逼迫した財政に苦しむ瀕死の自治体ばかりだ。その最たる存在であった宮崎県が、東国原知事の誕生で息を吹き返した。メディアを使った巧みなPRで観光客、県産品の売上は増加。県職員の士気もあがり、率先して組織改革を進めるほどだ。(著書知事の道より一部抜粋) 常に地域の代表として全国に情報を発信し、知名度の向上と経済発展を実施されてきた東国原氏は、全国発信によって起こる長岡の今後の発展や経済効果を学ぶ本例会の目的を達成する講師として適任だと考えたが、事前の講師との折衝が困難でありこちらの意図する例会ができないと判断しました。

②橋下徹（はしもと とおる） 大阪市長

1969年 6月29日 東京都出身  
1988年 3月 大阪府立北野高等学校卒業  
第67回全国高校ラグビー全国大会(花園)出場  
ベスト16  
第11回全国高校選抜東西対抗(国立競技場)  
西日本高校選抜  
昭和63年高校日本代表候補  
1994年 3月 早稲田大学政治経済学部卒業  
1994年 司法試験合格  
1997年 4月 弁護士登録  
1998年 4月 橋下綜合法律事務所開設  
2008年 2月 大阪府知事就任  
2011年 10月 大阪府知事辞任  
2011年 12月 大阪市長就任



橋下徹氏は25歳で弁護士事務所を開業後、メディアにも多く出演され、大阪府知事選を最年少38歳で当選されていることから知名度もあり、またその改革の手腕は誰もが知っていることから、まちづくりにもそのエッセンスを取り入れることができると考えましたが、**地域活性化のための、まちの魅力を発信するという目的にそぐわないと判断しました。**

③中田 宏（ながたひろし） 神奈川県横浜市長（第28、29代）

- ・日本創新党代表幹事
- ・大阪府大阪市特別顧問
- ・衆議院議員（4期）
- ・松下政経塾（第10期生）

生年月日 [1964年9月20日](#) (50歳)

出生地  [神奈川県横浜市](#)

出身校 [青山学院大学経済学部](#)卒業



市長就任後、中田氏はゴミの分別回収の徹底や横浜市立大学の機構改革、市職員の削減や保育所の民営化に代表される行政改革を市民からの賛否両論を受けながら実行する。2006年の市長選挙は事実上のオール与党支持により難なく再選された。その後もファイナンス手法の活用、緑地保全を名目とした増税（新緑税）や、市バスの路線削減などによる財政健全化を進め、2008年度に横浜市は1961年度以来47年ぶりに普通交付税の不交付団体となった。このように、地域を活性化させた実績があるため講師として選定しましたが、**市民や市民団体目線での地域活性化の具体的な政策実績がなかったため、選外と判断しました。**